



取扱説明書

ご使用前に
よくお読みください。

Life

助手席リフトアップシート車

このたびはHonda車をお買い上げいただき、
ありがとうございます。
この取扱説明書は、**Life** 助手席リフトアップシート車に
装備された専用機構の取り扱いについてのみ説明してあります。
その他の内容については**Life** 取扱説明書をご覧ください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。



アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています)



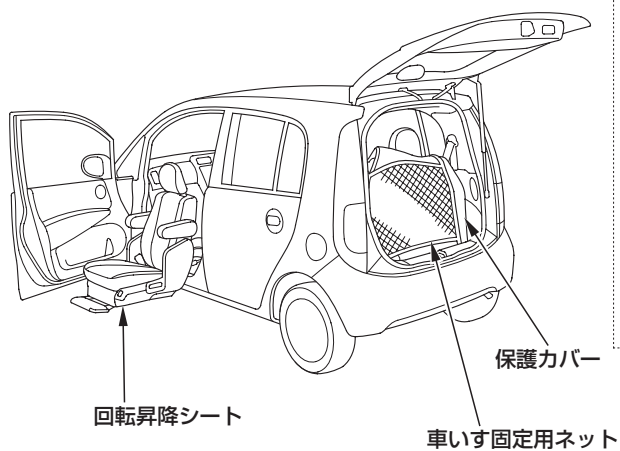
知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

もくじ

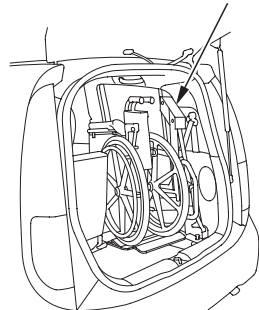
各部の名称	3
安全ドライブのための必読ポイント	4
シートの調節	
回転昇降シート	6
リヤシート	13
車いすの収納	
収納のしかた	14
車いす収納装置のたたみかた	20
点検整備について	
点検整備方式	24
日常点検	25
車いす収納装置の手入れ	25
万一のとき	
工具	26
応急用スペアタイヤ	28
シートが昇降できないとき	29
サービスデータ	
サービスデータ	34
収納可能な車いすのサイズ	35

各部の名称



車いす収納装置装備車

車いす収納装置



回転昇降シート

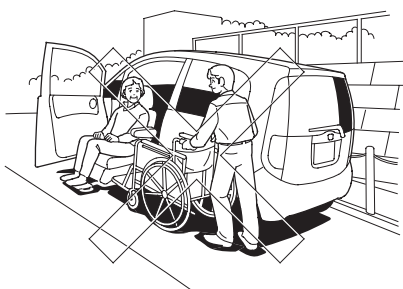


安全ドライブのための必読ポイント

坂道での回転、昇降操作はしない。

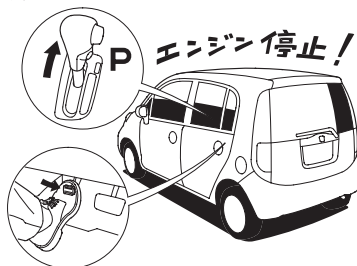
- 回転昇降シートおよび車いす収納装置の操作は必ず平坦な場所で行ってください。

坂道では、車や車いすが不安定になり、転倒や落下などにより思わぬけがをすることがあります。



昇降操作するときは、エンジンを止めて。

- 回転昇降シートおよび車いす収納装置の操作をするときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、必ずエンジンを止めましょう。不意に車が動き出したりして、思わぬけがをすることがあります。
- 回転昇降シートはセレクトレバーがPに入っていないと昇降操作ができません。



回転、昇降操作は介護する人が行う。

- 回転、昇降操作は、道路状況や回転昇降シートの周辺にも注意し、介護する人が行ってください。

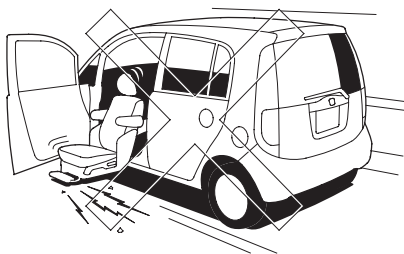
回転、昇降操作を誤ると思わぬけがをすることがあります。

- ・後ろの席にお子さまを乗せているときは、不意の動作に注意してください。



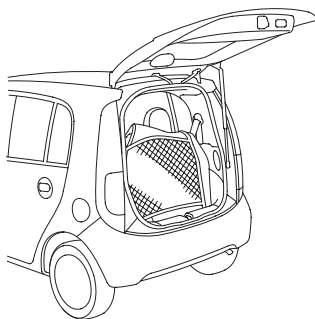
回転昇降シートや車いす収納装置を降ろしたままでの車の移動はしない。

- シートや車両が破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



車いすは確実に固定。

- 車いす固定用ネット装備車は、必ず車いすのブレーキをかけてから、固定用ネットで固定してください。走行中車いすが不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



シートの調節

回転昇降シート

知識

- 助手席シートは、リフトアップシート車専用になっているため、シートアレンジなどが一部制限されます。

●背もたれの調節



●ヘッドレストの調節

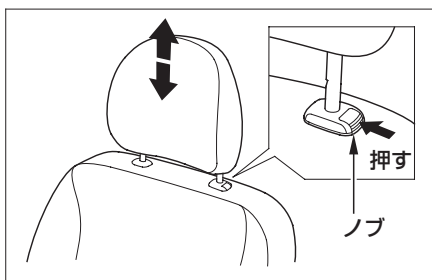
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定出来る範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときには、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときにはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



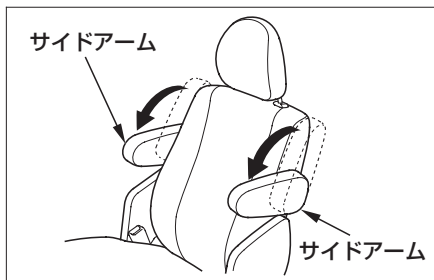
⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●サイドアーム

前に倒して使用します。

昇降操作中は、前に倒しておいてください。



⚠ 注意

- シートベルト着用時にサイドアームに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。
シートベルトは正しく着用してください。
- サイドアームを倒した状態で、ドアを閉める場合は、サイドアームとドアの間に腕などを挟まないように十分注意してください。

🚗 アドバイス

- サイドアームに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。サイドアームが破損するおそれがあります。

🏠 知識

- 回転、昇降中にサイドアームを倒しておいても、背もたれの角度によってはサイドアームが車体に接触することがありますが異常ではありません。

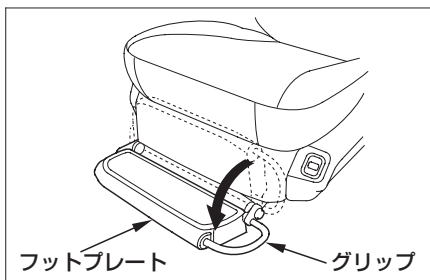
●フットプレート

グリップを持って、前に倒して使用します。

回転、昇降操作中は、介護される人の足を置いてください。

走行中は、フットプレートを必ず収納してください。

体重がかかりすぎて破損するおそれがあります。



🚗 アドバイス

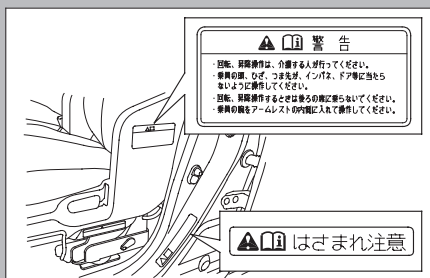
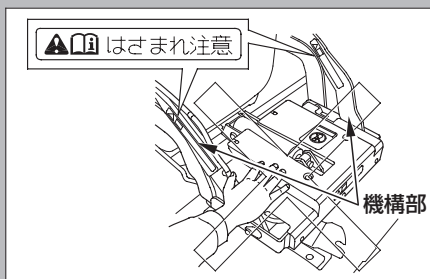
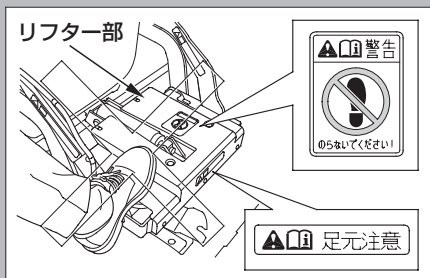
- フットプレートに体重をかけたり、ステップの代わりにしないでください。フットプレートが破損するおそれがあります。

●回転昇降シートの操作

セレクトレバーが回るとき昇降操作できます。

⚠ 警告

- 回転、昇降操作は介護する人が行ってください。シートに座っている人が操作すると、手や腕などをはさんだりぶついたりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。また、お子さまには操作させないでください。
- 回転昇降シートを操作するときは、グローブボックスを閉じ、助手席サンバイザー、カップホルダーなどを格納してください。また、助手席ドアを全開にして、シートに座っている人の腕をサイドアームの内側に入れてから操作してください。回転、昇降中に頭やひざ、つま先などがインストルメントパネルやドアなどにぶつかり、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 回転、昇降時はリフター部に乗ったり、機構部に触ったりしないでください。手や足などをはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 回転、昇降操作をするときは、助手席側の後部座席に座らないでください。足をはさまれたり思わぬ事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

- 回転昇降シートの操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
 - ・ シートの回転、昇降は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
 - ・ パーキングブレーキをかけてください。
 - ・ シートを操作する前に、シート下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。
- 介護される人が背もたれの角度を調節しているときは、ドアを閉めないでください。手をはさんでけがをするおそれがあります。

回転昇降シートには、チャイルドシートを取り付けしないでください。このシートでチャイルドシートを使用することはできません。

知 識

- この回転昇降シートの最大昇降能力は、100kgです。
これを越えての昇降操作は、故障の原因となります。
- 回転昇降シートが前向きで固定されていないと、セレクトレバーを回の位置から他の位置へ切り換えられません。シートを左右にゆすって、確実に固定されていることを確認してください。
- 回転昇降シートは、フラットシートにすることができません。
- 回転、昇降中にサイドアームを倒しておいても、背もたれの角度によってはサイドアームが車体に接触することがありますが異常ではありません。

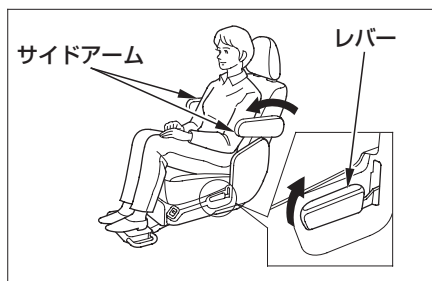
シートの降ろしかた

- ①シートベルトが外してあることを確認します。
- ②シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれが車体にあたらないようにレバーを引き上げながら背もたれの角度を調節します。
サイドアームを前に倒します。

→ 6、7 ページ

知 識

- 背もたれが倒れすぎていると、運転席と干渉してシートの回転ができなくなります。



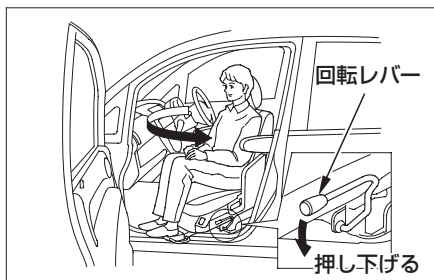
- ③フットプレートを前に倒して足を乗せます。

→ 7 ページ



- ④回転レバーを押し下げてシートを回転させます。

回転を始めたら、レバーから手を離しシートがロックされる位置まで回転させます。



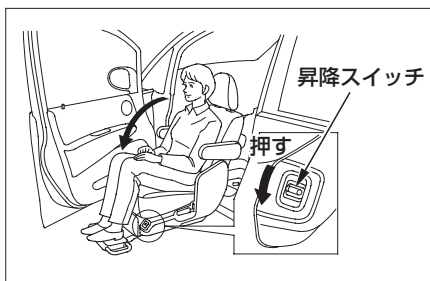
知識

- 左側のリヤシートを格納した状態で、回転昇降シートを回転させないでください。
- シートを回転させた後は、シートを左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

- ⑤昇降スイッチを下に押ししてシートを降下させます。

スイッチを下に押ししている間、シートは降下します。

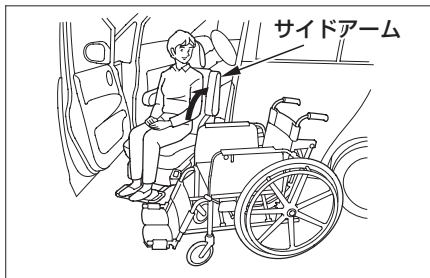
また、途中でスイッチから手を離せば、その場で停止させることができます。



⚠ 注意

- シートを昇降するときは、回転昇降シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。

- ⑥サイドアームを上げて、車いすなどに乗り換えます。



シートの上げかた

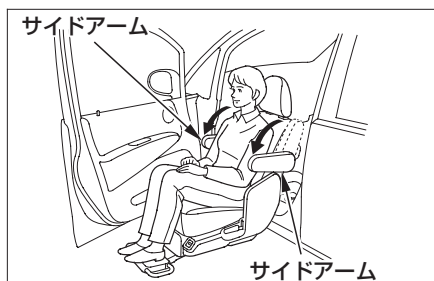
- ①フットプレートを倒し、シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれなどが車体側にあたらないように背もたれの角度を調節します。
車いすなどから乗り換え、サイドアームを倒します。

→ 6、7 ページ



知 識

- 背もたれが倒れすぎていると、運転席と干渉してシートの回転ができなくなります。



- ②昇降スイッチを上を押してシートが完全に停止するまで上昇させます。
スイッチを上を押している間、シートは上昇します。
また、途中でスイッチから手を離せば、その場で停止させることができます。

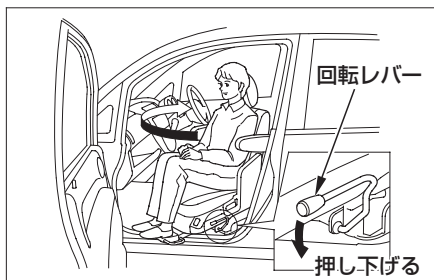


⚠ 注意

- シートを昇降するときは、回転昇降シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。

③回転レバーを押し下げてシートを回転させます。

回転を始めたら、レバーから手を離しシートがロックされる位置まで回転させます。



アドバイス

- シートを回転させ横に向いた状態でドアを閉めると、ドアがシートにぶつかり故障や破損の原因になります。
- シートを上昇の途中で回転(収納)させるとシートのがたつきや故障の原因になります。

知識

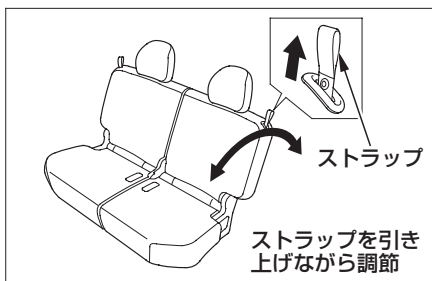
- 左側のリヤシートを格納した状態で、回転昇降シートを回転させないでください。
- シートを回転させた後は、シートを左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

リヤシート

●背もたれの調節

ストラップを引き上げながら、背もたれの角度を調節します。

片側ずつ独立して行えます。



知識

●車いす収納装置装備車

リヤシートは、この車専用になっているため、背もたれの調節角度は3段階に制限されています。

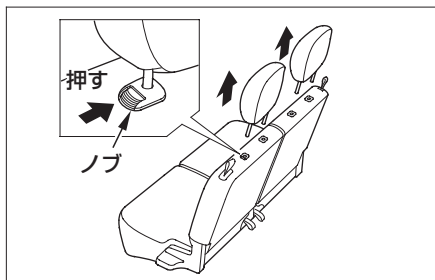
車いすの収納

収納のしかた

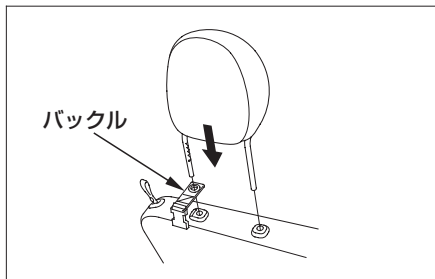
車いす固定用ネット装備車

●車いすを収納するとき

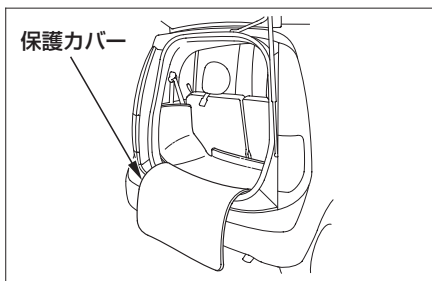
- ①テールゲートを開けます。
- ②リヤシートが格納されている場合は着座位置に戻し、背もたれを一番起こした位置に調節します。
リヤシート → Life取扱説明書
- ③ノブを押して、リヤシートのヘッドレストを外します。



- ④ヘッドレストを固定用ネットのバックルの穴に通し、最後まで押し込みます。

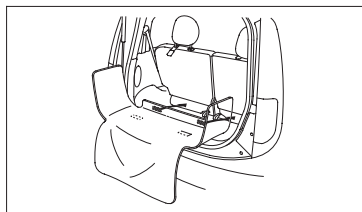


- ⑤保護カバーを引き出し、バンパーにかぶせます。



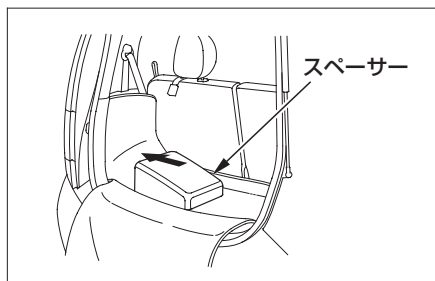
知 識

- 保護カバーを取り外している場合は、マジックファスナーが付いている面を下にして、図のように固定してください。

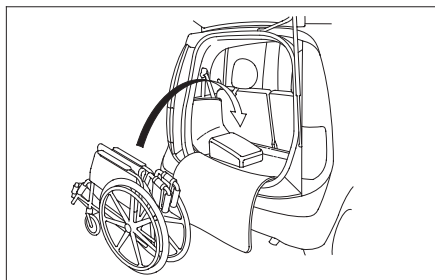


- リヤシートのロック部に保護カバーをはさみ込まないようにしてください。

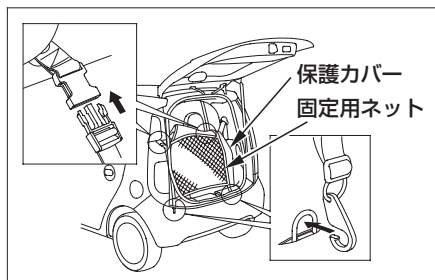
- ⑥ スペースをカーゴスペース側面との間にすき間ができないように置きます。



- ⑦ 車いすを折りたたみ、車いすを横向きにのせます。このとき車いすのブレーキをかけてください。

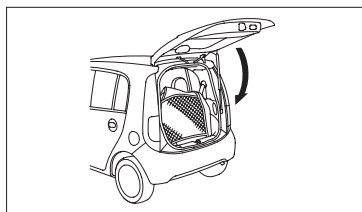


- ⑧ 保護カバーを車いすにあてながら、固定用ネットで車いすを固定します。



知識

- 車いすがぐらついたり、固定用ネットがきついときは、固定用ネットのベルトの長さを調節してください。
- 車いすを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- テールゲートを閉めるとき、車いすにテールゲートが接触しないように注意してください。
車いすがテールゲートと背もたれにはさみ込まれると変形する可能性があります。



- 車いすを車から取り出すとき
収納するときとは逆の手順で行います。

車いす収納装置装備車

⚠ 注意

- 車いす収納装置の操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
 - ・ 収納装置の操作は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
 - ・ パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをⒶに入れ、必ずエンジンを止めてください。
 - ・ 収納装置を降ろす前に、接地面周辺に障害物がないことを確認してください。
 - ・ 収納装置の操作は介護する人が行い、手や足などをはさんだりしないように十分注意してください。また、お子さまには操作させないでください。
 - ・ 収納装置を上げ降ろしするときは、途中で手を放さないでください。
 - ・ 収納装置を降ろした状態で、車の移動はしないでください。

アドバイス

- 収納装置に車いす以外のものをのせないでください。故障や破損の原因になります。
また、収納可能な車いすかどうか、サイズを確認してください。
→35ページ
- 収納装置は乱暴に操作しないでください。故障や破損の原因になります。
- 収納装置に水をかけないでください。雨天などで水がかかったときは、乾いたやわらかい布で、すぐに拭き取ってください。

知 識

- この収納装置の最大許容荷重は20 kgです。
- 収納装置を操作するときは、テールゲートをいっばいに開けてから行ってください。

●車いすを収納するとき

①接地面が平坦かどうか確認します。



アドバイス

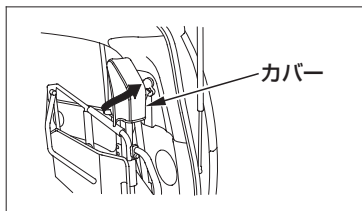
- 収納装置の接地面に傾斜や段差がある場合は収納装置を降ろさないでください。収納装置が損傷するおそれがあります。

②車いす収納装置よりカバーが取り外されていることを確認してください。

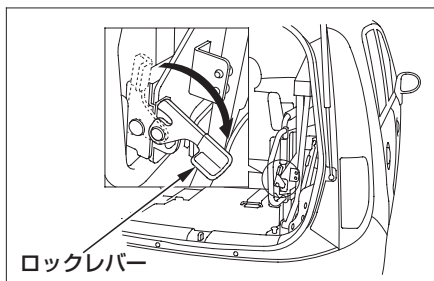


知識

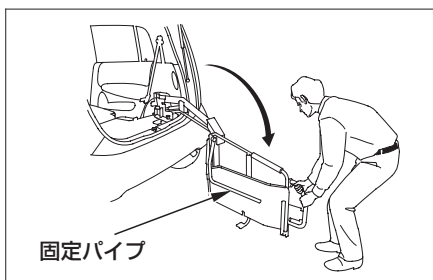
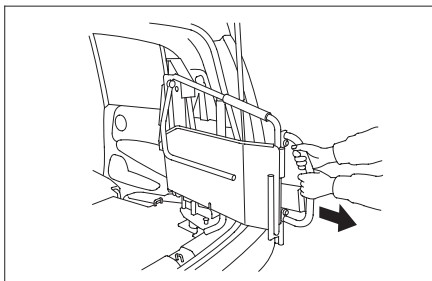
- 収納装置にカバーが取り付けられているときは、取り外します。



③ロックレバーを押し下げロックを解除します。



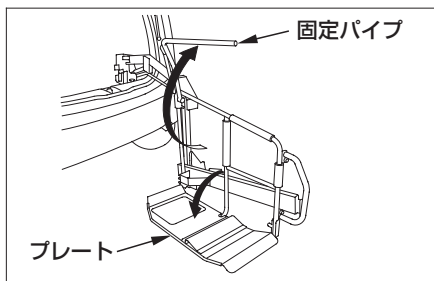
④両手で収納装置を車外に引きだし下に降ろします。



アドバイス

- 収納装置を出し入れするときは、固定パイプを持って操作しないでください。故障や破損の原因になります。

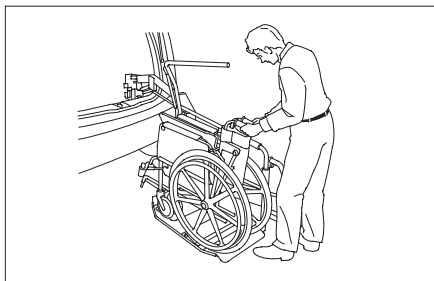
- ⑤車いす固定パイプとプレートをいっばいに開きます。



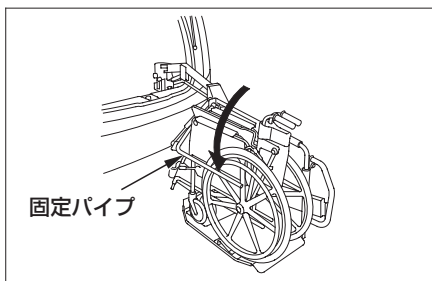
知識

- 固定パイプがいっばいに開かれていると、開いた状態が保持されます。周辺に障害物のないところで操作してください。

- ⑥車いすを折りたたみ、収納装置にのせます。このとき車いすのブレーキをかけてください。



- ⑦固定パイプを車いすに密着するまで閉じます。



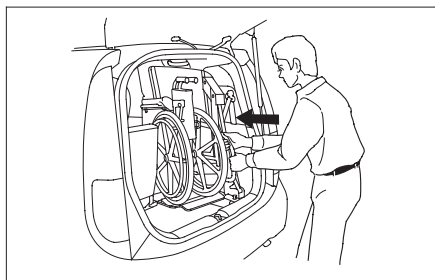
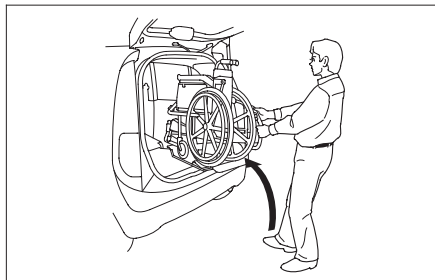
注意

- 固定パイプを操作するときは、手などをはさまれないように注意してください。
- 車いすを固定パイプで確実に収納装置に固定してください。固定が不完全だと車いすが脱落してけがをするおそれがあります。

知識

- 固定パイプが確実に閉じていると、閉じた状態が保持されます。

- ⑧両手で収納装置を持ち上げ車内へ入れます。

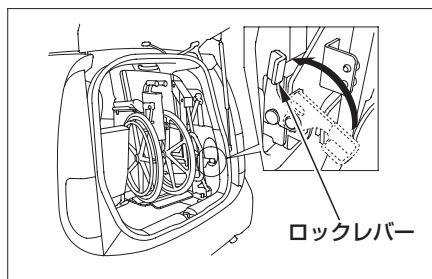


知識

- 左側リヤシートの背もたれの角度によっては、収納装置と干渉することがあります。干渉する場合は、リヤシートの背もたれの角度を調節してください。

背もたれの調節 →13ページ

- ⑨ロックレバーを押し上げロックします。



知識

- 収納装置を軽くゆすって、確実に固定されていることを確認してください。

●車いすを車から取り出すとき

収納するときとは逆の手順で行います。

→17ページ

車いす収納装置の たたみかた

車いす収納装置装備車

車いす収納装置を使用しないとき、折りたたんでテールゲート側へ回転させ固定すると、右側のリヤシートに乗車することやカーゴスペースを作ることができます。

⚠ 注意

- 車いす収納装置の回転操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
 - ・ 収納装置の回転操作は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
 - ・ パーキングブレーキをかけてセレクトレバーを回し入れ、必ずエンジンを止めてください。
 - ・ 収納装置の回転操作は介護する人が行い、頭をぶつけたり手をはさんだりしないように十分注意してください。
また、お子さまには操作させないでください。
- 車いす収納装置を折りたたんだときは必ずカバーを取り付けてください。
また、リヤシートに乗車するときは収納装置に頭などをぶつけたりしないように十分注意してください。

アドバイス

- 収納装置を回転するときは乱暴に操作しないでください。故障や破損の原因になります。

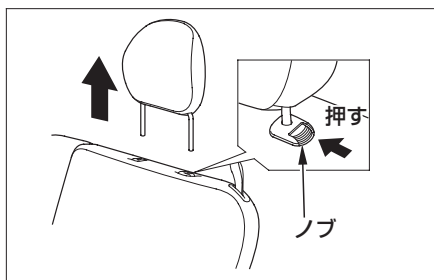
●車いす収納装置をたたむとき

車いす収納装置を折りたたみ回転することにより、乗車定員を4名にすることができます。

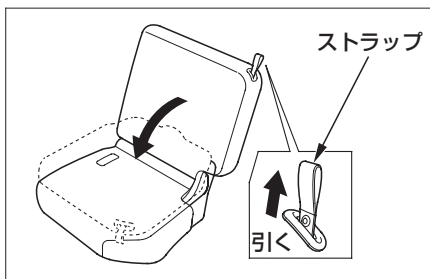
知 識

- 収納装置の回転操作は、必ず車いすを降ろしてから行ってください。

- ①ノブを押しながらリヤシート(左側)のヘッドレストを取り外します。

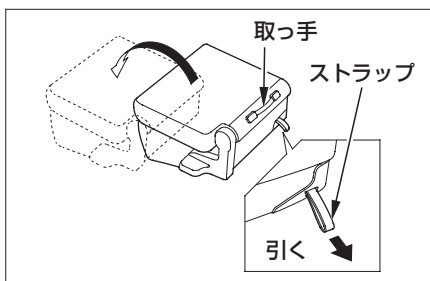


- ②ストラップを引き上げながら、リヤシート(左側)の背もたれを前に倒します。

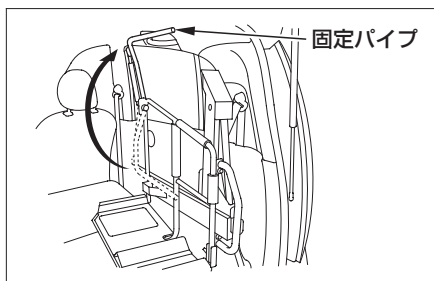


- ③ストラップを引きシートロックを解除します。

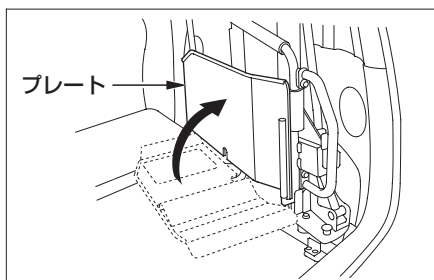
- ④取っ手を持ってシートを上へ持ち上げて、前へ押し出し静かに落とし込みます。



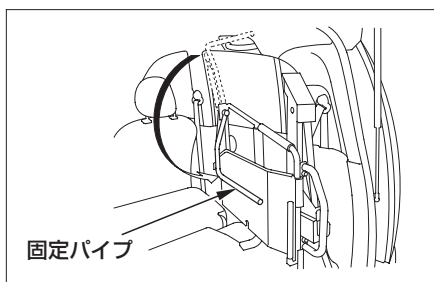
⑤固定パイプをいっぱいに開きます。



⑥プレートを折りたたみます。



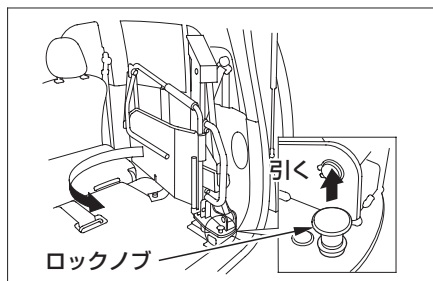
⑦固定パイプを閉じます。



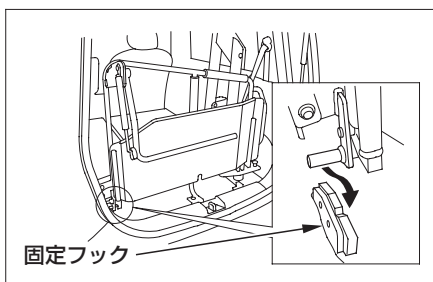
⚠ 注意

- 固定パイプを操作するときは、手などをはさまれないように注意してください。

⑧ロックノブを引いて、収納装置を回転させます。
回転し始めたら、ノブから手を離します。



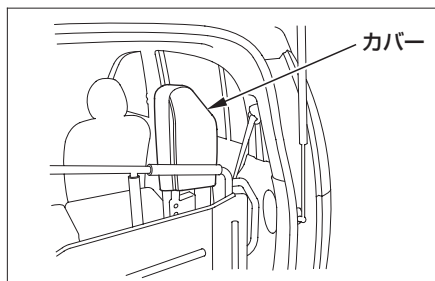
⑨収納装置を持ち上げるようにして、固定フックに寄せます。
固定フックに寄せると、ロックノブが元に戻り、固定されます。



📖 知 識

- 車いす収納装置を回転させた後は、収納装置を前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

- ⑩車いす収納装置に、カバーを取り付けます。



- ⑪リヤシートを元に戻します。

カーゴスペースの作りかた

→Life取扱説明書

●車いす収納装置を使用するとき

車いす収納装置をたたむときの逆の手順で運転席の後方へ回転させ固定してください。

点検整備について

点検整備方式

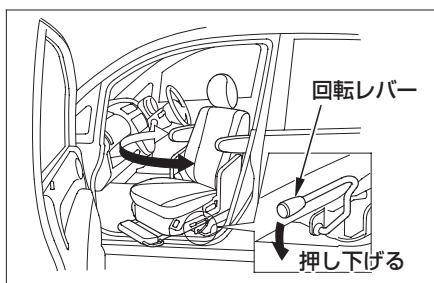
点 検 整 備 項 目			点検時期			交換時期(年)	備 考
			日常点検	12か月ごと	24か月ごと		
回 転 昇 降 シ ー ト	回 転 部	回転部のスムーズさ	○				
		各取付部の緩み、がた、損傷		○	○		
	リフト部	昇降スピード、異音	○	○	○		昇降時間 8－12秒
		オイルの量、漏れ、汚れ		○	○	2	
		ロック解除レバーのロック状態、変形		○	○		
車いす収納装置	作動のスムーズさ、異音		○	○	○		
	各部の緩み、がた、損傷			○	○		

日常点検

日常の回転昇降シートの使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検です。

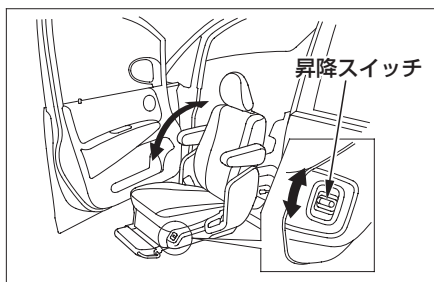
●シート回転部のスムーズさ

回転レバーを矢印の方向に押し下げてシートを回転させ、スムーズに回転するかを点検します。



●昇降スピード・異音の点検

昇降スイッチを押してシートを昇降させ、スピードが著しく遅くないか、異音がないかを点検します。



車いす収納装置の手入れ

車いす収納装置装備車

塗装面に付着した汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

汚れがひどいときには、中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし、さらに水にひたした布を固くしぼってから拭き取ります。仕上げに、乾いた布で水分を拭き取ってください。

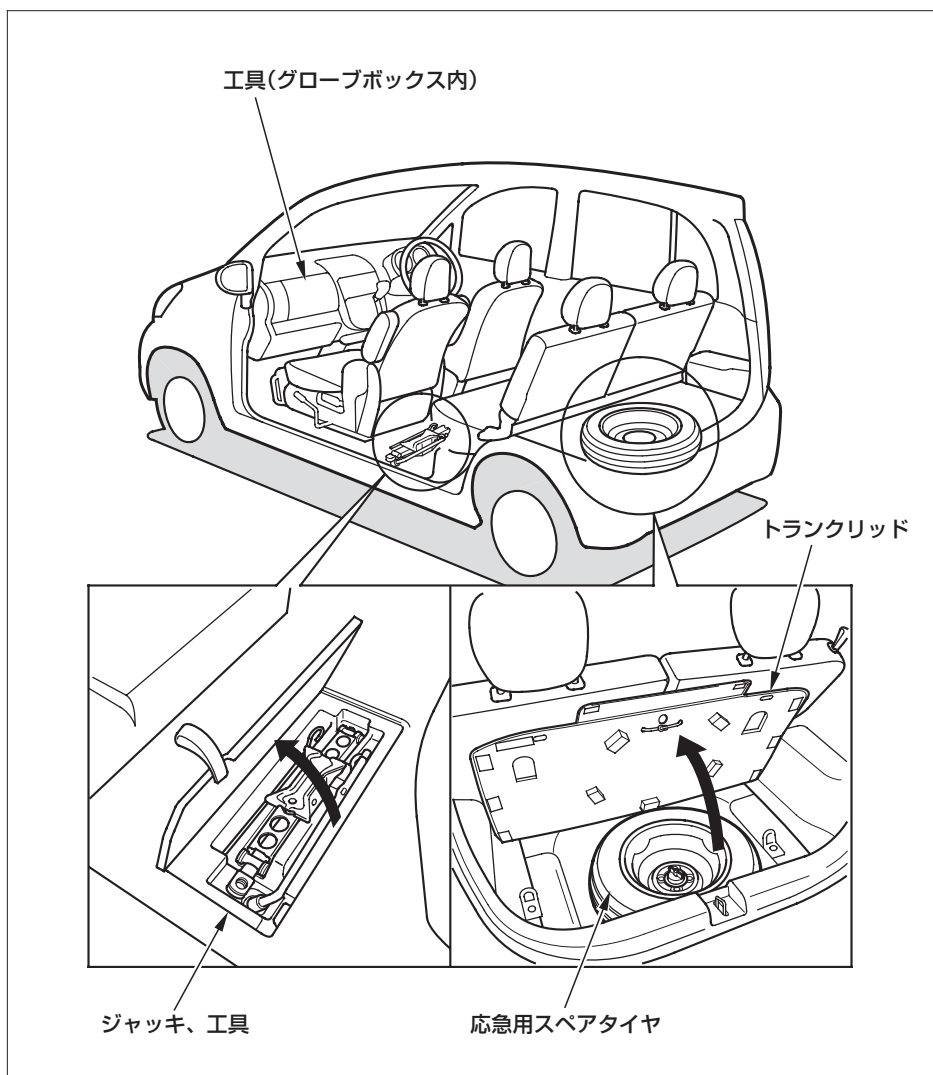
🚗 アドバイス

- 水洗いはしないでください。故障の原因になります。
- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。

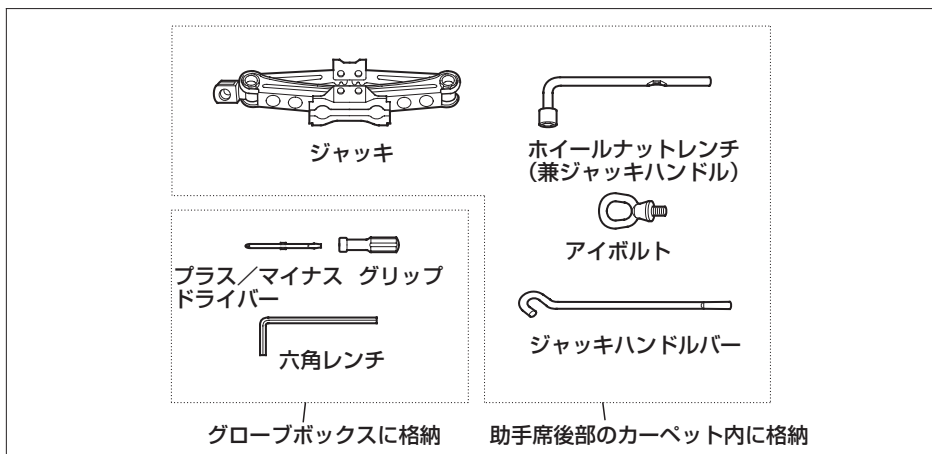
万-のとき

工具

●格納場所



●工具の種類



🎓 知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

応急用スペアタイヤ

車いす収納装置装備車

- ①収納装置を引き出して、接地面に降ろします。

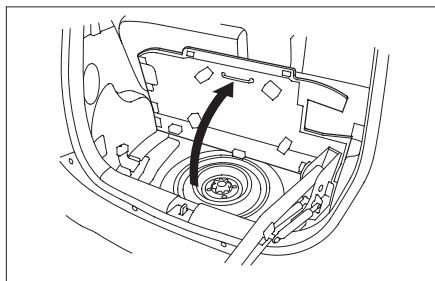
→17ページ



アドバイス

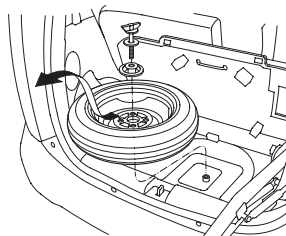
- 収納装置の接地面に傾斜や段差がある場合は収納装置を降ろさないでください。収納装置やバンパーが破損するおそれがあります。

- ②カーゴルームのトランクリッドを開けます。

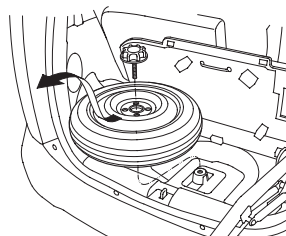


- ③応急用スペアタイヤを取り出します。

2WD車



4WD車



アドバイス

- タイヤを交換するときは、収納装置を車内に戻してから行ってください。ジャッキで車体を上げたときに、収納装置やバンパーが破損するおそれがあります。

シートが昇降できないとき

シートが昇降できないときは、車のバッテリーを点検してください。

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れが考えられます。

- ①バッテリーの⊖端子を外してください。
- ②ヒューズが切れていないかを点検します。
- ③必要に応じて、ヒューズを交換します。

知 識

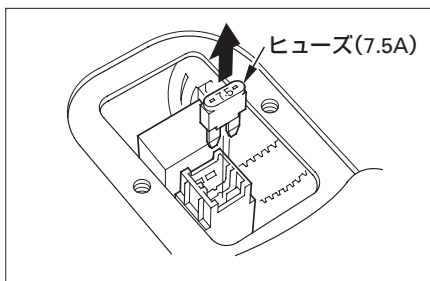
- 長期間シートを昇降していなかった場合は、昇降スイッチを押してポンプが作動してもシートが下降しないことがあります。
その場合は、昇降スイッチをいったん上(上昇方向)に押してから、下に押してシートが下降すれば、異常ではありません。

●ヒューズの点検、交換

ヒューズの位置

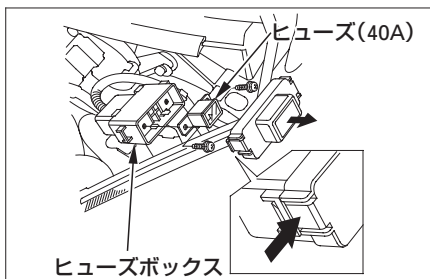
・運転席シート後側

リッドの外しかた →31ページ



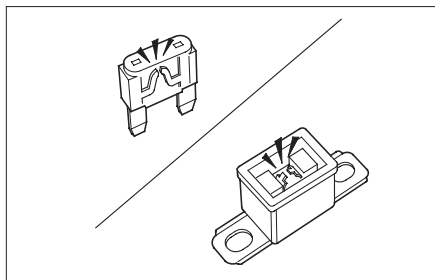
ヒューズ規定容量：7.5A

・エンジンルーム内



ヒューズ規定容量：40A

ヒューズが切れているとき



表示に従い規定容量のヒューズに交換します。



アドバイス

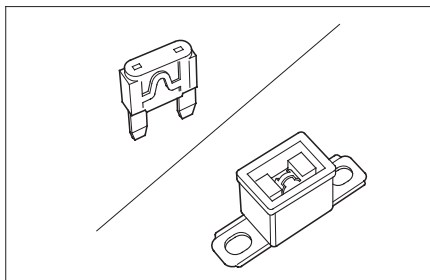
- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。



知識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



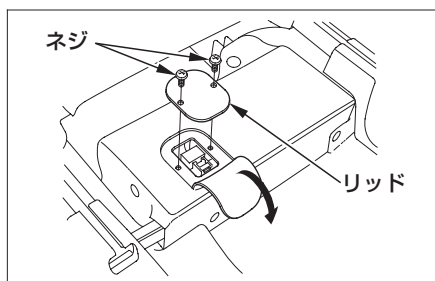
ヒューズが切れていないのに、シートが昇降できないときは、装置の故障が考えられます。降りたままのときは手で格納し、Honda販売店へご連絡ください。

→31ページ

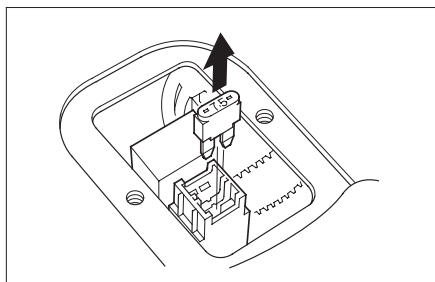
●手動格納のしかた

装置が故障した場合は、Honda販売店へご連絡ください。もし、連絡できない場合は、次の方法で回転昇降シートを手動で格納してください。

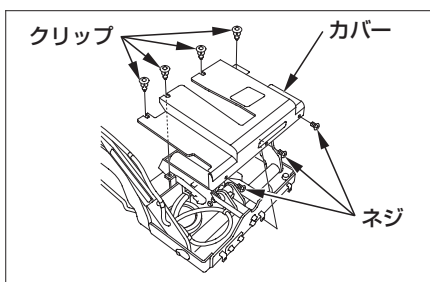
- ①運転席シート後側のカーペットをめくり、プラスドライバーでネジ(2本)を外し、リッドを外します。



- ②ヒューズを抜き取ります。

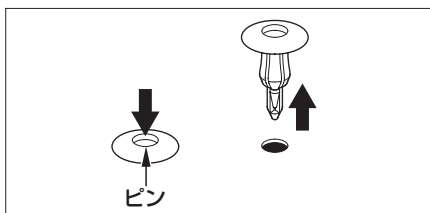


- ③クリップ(4個)と、プラスドライバーでネジ(3本)を外し、カバーを外します。

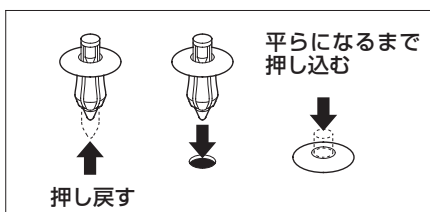


・クリップの脱着のしかた

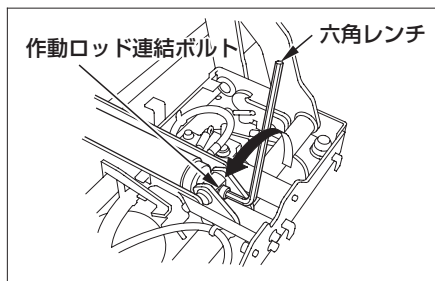
クリップ中央部のピンを“カチッ”と音がるまで軽く(2mm程度)押し込んでクリップを引き抜きます。



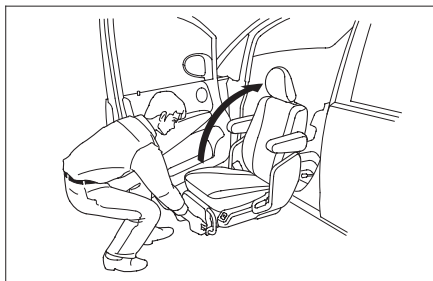
固定するときは、クリップ中央部のピンを押し戻して、取り付けたライニングに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。



- ④六角レンチで作動ロッド連結ボルトを外します。

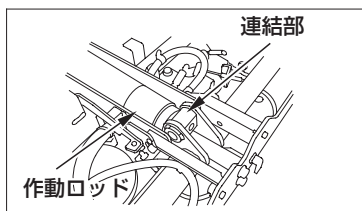


- ⑤回転昇降シートを静かに一番上(停止する位置)まで持ち上げます。

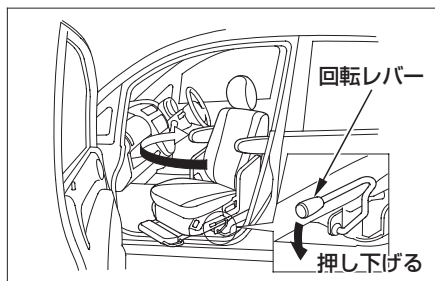


知 識

- シートを少し持ち上げると作動ロッドが倒れます。その状態でシートを降ろさないでください。作動ロッドの上に連結部が乗り上げ、作動ロッドに傷が付くおそれがあります。



- ⑥回転レバーを押し下げて、シートがロックする位置まで回転させます。



知 識

- 回転昇降シートが前向きで固定されていないと、セレクトレバーを回の位置から他の位置へ切り換えられません。

シートを左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

- ⑦なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

注意

- 回転昇降シートを手動格納したときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

サービスデータ

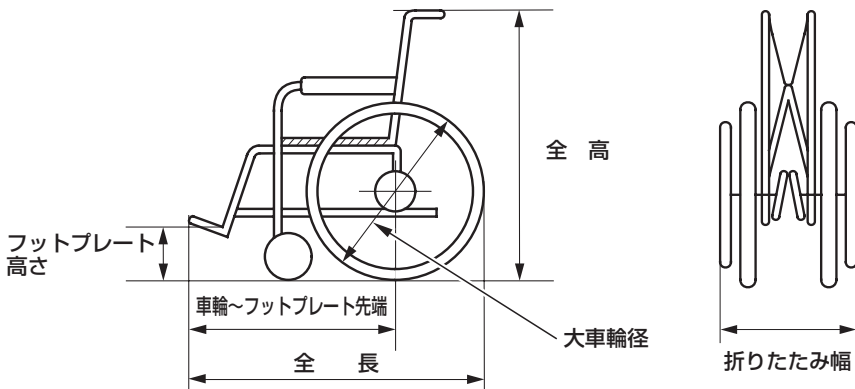
サービスデータ

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
回転昇降シート最大昇降能力(kg)		100	
パワーユニットオイル		推奨オイル	ISO VG22相当
		交換時期	2年ごと
		全容量(ℓ)	0.3(交換時)
車いす収納装置最大許容荷重(kg)		20	
乗車定員(人)	車いす収納装置装備車	車いす収納装置を使用している状態	3
		車いす収納装置をたたんだ状態	4
	車いす固定用ネット装備車	4	

収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすのサイズは下表のようになっていますので、車いすを購入されるときに、あらかじめ確認してください。なお、下記条件を満たしている場合でも形状によっては搭載できない車いすがあります。

項目 \ タイプ	自走式、介護式	
	車いす固定用ネット装備車	車いす収納装置装備車
大 車 輪 径 (インチ)	24以下	24以下
全 高 (mm)	640以下	820以下
全 長 (mm)	990以下	1,050以下
折 り た た み 幅 (mm)	320以下	320以下
車輪～フットプレート先端 (mm)	750以下	750以下
フットプレート高さ (mm)	100以上	100以上
重 量 (kg)	20以下	20以下





万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。